日本山岳救助機構(jRO:ジロー)会員の皆様

2022年度事後分担金のご通知とご報告 および2021年事後分担金の精算についてのお知らせ

① 2022年度事後分担金のご通知 **200円**

●会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払いをお願い申し上げます。

- 事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補てん金及び臨時費用補てん金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
- 2022年度の計算期間は2022年1月1日から12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に1会員あたり200円の事後分担金のお支払いをお願い申し上げます。
- 団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日が2022年1月1日から12月31日の場合に、2022年の事後分担金のお支払いをお願いいたします。(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2022年に属していない場合でも、本会員開始日が2022年の場合には2022年事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします。)
- 事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- 計算方法についてはP2～4をご覧ください。

② 2021年補てん金額の確定による相殺(割引)額 **▲100円**

●対象となるのは2022年のjRO会員、かつ2021年事後分担金をお支払い済みの会員の方です。

- 2021年度の事後分担金は200円と算出しましたが、2022年10月9日現在補てん金総額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2021年度補てん金総額を上回ったため、2021年事後分担金をお支払い済の方は▲100円を相殺(割引)させていただきます。

※注：2022年にjRO会員で、かつ2021年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行なうことができません。ご了承をお願いします。

- すでに退会済、または2022年はjRO会員でない方
2022年度事後分担金のご案内および2023年度への更新ご案内がお送りできない場合等
- 2021年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方
2021年は個人会員で2022年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- 2021年と2022年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合、個人会員を退会后、家族会員として再入会等

●各会員に関する金額の詳細は2022年度から2023年度への更新の案内をご参照ください。

●2021年事後分担金の確定額計算については別紙2021年補てん金お支払い実績表(確定)をご参照ください。

2022年のjRO会員、かつ2021年事後分担金をお支払い済みの方の2022年事後分担金は、1会員あたり100円(200円-100円=100円)となります。

この件のお問い合わせはjROリエゾンセンターへお願いいたします。

2022年補てん金お支払い実績表(2022.1～8までの暫定値★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	下山中に千畳敷カール内で転倒し下肢を複雑骨折。警察ヘリにて病院に搬送される。中央アルプス地区遭対協の救助費用が発生。	負傷	¥19,250
1	福岡県 宝満山	2名で登山し、下山中に転倒して負傷(脱臼・骨折)。救助され防災ヘリにより病院に搬送。関係者駆けつけ費用、謝礼費用が発生。	負傷	¥6,900
1	新潟県 阿寺山	3人でスノーボードで下山中に雪崩に埋没。同行者に救助されたが意識がなく、数日後に警察ヘリにて収容。遺体搬送費が発生。	死亡	¥355,874
2	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	3人パーティ(内jRO会員2人)で爺ヶ岳東尾根を登り、赤岩尾根を下山中に道に迷い警察、遭対協により救助。3人で按分した捜索救助費用と遠隔地からの駆けつけ費用が発生。	負傷	¥229,763
			負傷	¥67,000
2	八ヶ岳連峰 天狗岳	単独で八ヶ岳連峰天狗岳に出かけ、下山中に低体温症に。諏訪地区山岳遭難防止対策協会により救助され、県警ヘリで病院に搬送。	負傷	¥88,400
2	岩手県 夏油高原スキー場	スキー場のツリーランエリア内でスノーボード中に、沢にできた穴に転落。スキー場パトロールによって救助される。救助費用が発生。	負傷	¥30,000
2	八ヶ岳連峰 美濃戸口	角木場沢でアイスクライミング中に、氷の崩落により全身打撲、右足首骨折。遭対協により救助され人力搬送後、諏訪中央病院に収容。	負傷	¥174,220
3	長野県 志賀寺子屋スキー場	スキー場内で衝突し転倒負傷。パトロールに救助され、ドクターヘリで病院に搬送。救助謝礼、関係者駆けつけ費用が発生。	負傷	¥61,570
3	埼玉県 両神山	両神山系滝沢内で下山中に、道迷いの後に滑落。3月30日に発見され死亡が確認される。家族の駆けつけ費用が発生。	死亡	¥50,000*
3	鳥取県 大山	6人グループで下山中、6合目付近でバランスを崩して滑落負傷。警察、遭対協により搬送。鳥取県山岳・SC協会遭対委に支払い発生。	負傷	¥50,220
3	石川県 白山	奥長倉で下山途中に滑落し遭難。民間救助隊の5回にわたる捜索の結果、3か月後の6月2日に遺体を発見、収容。	死亡	¥2,160,315
3	新潟県 東谷山	3名で山頂からスキー滑降中に転倒。右足を骨折し自力下山不可能に。新潟県警のヘリで救助。	負傷	¥60,840
4	八ヶ岳連峰 赤岳	文三郎尾根を3人で登山中、南峰リッジ取り付き付近で雪崩に流され埋没。茅野署救助隊、遭対協隊員らが捜索。翌日、発見され病院で死亡を確認。	死亡	¥841,491
4	八ヶ岳連峰 赤岳	地蔵尾根を下山中に雪に足をとられ、捻って骨折。茅野警察署、諏訪遭対協が出動し地上搬送。救助費用と謝礼費用が発生。	負傷	¥323,004
4	中央アルプス 空木岳	4月23日に単独で入山。3泊4日の予定であったが連絡がなく、捜索していた県警ヘリが発見。救助後に死亡を確認。遺体搬送費など。	死亡	¥300,000
4	奈良県 吉野 四寸岩山	単独で入山し行方不明に。警察による捜索が打ち切られた後、民間救助隊が捜索。5月16日、死亡が確認される。	死亡	¥800,000*

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
5	富山県 クズバ山	6人グループで山頂から下山途中、1480m付近の雪庇で滑落。富山県警ヘリにより病院に収容される。謝礼費用と駆けつけ費用が発生。	負傷	¥40,060
5	福島県 会津駒ヶ岳	滝沢登山口ルートを下山中に、1650m付近でルートを外れ、トラバース中に滑落し骨折。檜枝岐村遭対協救助隊の救助費用が発生。	負傷	¥22,000*
5	北アルプス 西穂高岳	山岳会員3名で西穂山荘から下山中に急坂で右足首を捻挫および骨折。警察による人力搬送で病院に収容。会員の駆けつけ費用が発生。	負傷	¥23,323
5	北アルプス 前穂高岳	2900m付近から300m滑落し、岩と雪の間に落下。同行者が引き上げて岳沢小屋に1泊したが、歩行不能のためヘリで搬送される。	負傷	¥91,953
5	北アルプス 常念岳	常念岳東側の沢で、沢を誤って詰め雪渓で滑落。北アルプス南部地区遭対協に救助要請したうえで自力下山。	特になし	¥110,973
6	北アルプス 白馬岳	白馬大雪渓を下山中、2200m付近でシリセードに失敗し負傷。長野県警ヘリにて救助。北アルプス北部地区遭対協からの請求が発生。	負傷	¥163,220
6	北アルプス 白馬鑓ヶ岳	下山中に雪渓で滑落し負傷。当日は現地ではビバークし、翌朝、長野県警ヘリで救助される。遭対協職員3名が出動。	負傷	¥164,220
6	山形県 飯豊山	登山道から滑落し、約40m下の岩場で登山者により発見。防災ヘリで病院搬送後、脳挫傷による死亡を確認。遭対協隊員7名が出動。	死亡	¥135,440
6	八ヶ岳連峰 稲子岳	稲子岳南壁左カンをクライミング中に同行者が滑落。動揺により下山困難に。警察ヘリや遭対協隊員7名の出動により救助される。	負傷	¥100,000*
6	北海道 小樽赤岩	クライミング中に滑落して脳挫傷、脊椎骨折、足首捻挫。ドクターヘリで収容。駆けつけ費用他が発生予定。	負傷	¥100,000*
7	北アルプス 小遠見山	遠見尾根を下山中、ガスと雨で道に迷い、110番通報にて救助要請し救助される。北アルプス北部遭対協への支払いが発生。	負傷	¥123,480
7	北アルプス 間ノ岳	単独で上高地～西穂高岳～奥穂高岳を登山中に行方不明に。7月20日岐阜県警ヘリにより間ノ岳北北西100m約地点で発見、死亡を確認。	死亡	¥162,130
7	北アルプス 北穂高岳	南稜鎖場付近で岩にかけた足が15cmほど下にずれ、左肩が岩に当たり肩を脱臼、骨折。遭難対策協議会からの請求が発生。	負傷	¥137,907
7	北アルプス 北穂高岳	北穂高東稜取り付き付近で、先行パーティ起因の落石（岩雪崩）を受けて滑落。ヘリコプターにより病院に搬送。	負傷	¥350,000*
7	北アルプス 北穂高岳	北穂高から涸沢に下山中、岩場で転倒し肩を骨折。北アルプス南部地区常駐隊に救助された費用が発生。	負傷	¥150,000*
7	北アルプス 劔岳	単独で劔岳八ツ峰を登攀中、7峰と8峰の科尔付近で約10m滑落。富山県警ヘリにて捜索し、搬送後、死亡が確認される。	死亡	¥500,000*
7	丹沢 箱根屋沢	山岳会の仲間4人と一緒に沢登り中、滝で12メートル下に滑落。頭を強く打つなどして死亡。神奈川県警により病院に搬送。	死亡	¥30,000*

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
7	北海道 知床 斜里岳	斜里岳、万丈の滝近くを渡渉中に滑落。頭部外傷、鎖骨他骨折などで救助要請。警察、消防の救助隊によりヘリ搬送。謝礼費用が発生。	負傷	¥18,910
7	熊本県 八代市の沢	沢登り中に大岩に手をかけた瞬間に岩が直撃、バランスを崩して10m滑落、負傷。	負傷	¥50,000*
8	南アルプス 甲斐駒ヶ岳	甲斐駒ヶ岳から駒津峰方面へ下山中、足を滑らせて小岩につまづき前のめりに転倒。南アルプス北部地区遭対協の救助費用が発生。	負傷	¥200,000*
8	北アルプス 穂高岳	長谷川ピーク付近を通過中、何らかのアクシデントがあり、足を滑らせて転落、滑落死亡。	死亡	¥350,000*
8	北アルプス 槍ヶ岳	槍ヶ岳から東鎌尾根を下山中、岩の上の小石に乗り転倒。防災ヘリで病院に収容される。北アルプス南部地区遭対協への支払いが発生。	負傷	¥100,000*
8	中央アルプス 檜尾岳	両足痙攣硬直で歩行不能となり、休憩後下山する旨を小屋に連絡、救助要請する。救助隊と合流し下山。	特になし	¥200,000*
8	奥秩父 豆焼沢	8月8日、沢で登山者がザックを発見。その後埼玉県警の捜索で遺体を発見収容。遺体搬送費を予定。	死亡	¥200,000*

総額(9/14現在)【支払額★未請求(見込)額】	A	¥9,142,463
推計値(9/14現在未報告案件及び以降発生案件に対応するため。下記参照)	B	¥16,500,000
2022事後分担金算出の基礎数字(事後分担金計算式の分子) A+B	C	¥25,642,463
2022会員総数(決済エラー無し会員総数)	D	130,000名
2022事後分担金 C÷D=¥197(左記の端数を切り上げEとした)	E	¥200

◎推計値(B欄¥16,500,000円)の算出について

- 一般的に12月には遭難が他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても例えば2020年は5件、2019年は4件、2018年は5件、2017年は2件、2016年は4件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。2012年の場合は、長期にわたる捜索活動を必要とする事案が発生しました。また、JRO会員数は2009年末を例とすると会員数約1万名に比べて、本年度は10.1倍の会員数(約10.1万名)となり、事故件数はそのまま比例するとはならないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- 遭難事故の発生からその通知まで約1か月以上かかるケースが多く、また10月までの未報告案件のあることも加え、2022年9月現在のコロナ禍の特殊な状況も考慮する必要があります。
- B欄16,500,000円という推計値は前記のような過去の経験値を勘案し算出いたしました。
- 2022年の補てん金額の確定は2023年10月中旬を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 別紙に2021年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲げました。

2021年補てん金お支払い実績表(確定)

・2022年度事後分担金の精算(相殺処理)金額 ▲100円

・2022年10月現在、昨年度補てん金お支払い対象案件は下表以外の発生は想定できません。
よって以下を2021年補てん金(カバレッジ制度)総額といたしました。

★ = 未請求案件

① = 単独での事故

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	北海道 キロロスキー場	バックカントリーでゲレンデに戻れない場所に降りてしまう。スマホアプリで現在地を確認し、戻ろうとしたが日没で行動不能となり救助要請。スキー場パトロール隊や雪上車が出動。23時過ぎに付き添い下山する。2名共同遭難。総額116万円按分。	負傷	¥580,000
1	北アルプス 白馬八方尾根	5人パーティでオープンバーンを滑走中、岩に衝突し負傷。仲間と警察らにより救助。北アルプス北部山岳遭難防止対策協会への支払いが発生。	負傷	¥167,193
3	中央アルプス 千畳敷カール	登山中に雪崩に巻き込まれ1m埋没。パーティメンバーらにより救助される。あわせて中央アルプス地区山岳遭難防止対策協会の救助活動あり。	負傷	¥151,932
4	山形県 蔵王・地蔵山	熊野岳からロープウェイ地蔵山頂駅へ仲間とスキーで下山中、同行者と離れてしまい道迷い遭難。救助依頼を受けた山形市山岳遭難対策委員会メンバーにより救助される。	負傷	¥73,484
5	北アルプス 槍ヶ岳	3人で槍ヶ岳に登山中、悪天候のなか低体温症のため遭難死亡。長野県警救助隊が発見。北アルプス南部地区遭対協の救助活動あり。	死亡	¥129,468
5	北アルプス 槍ヶ岳	3人パーティで槍ヶ岳に登山中、飛騨乗越付近(標高3010m)で悪天候により低体温症で死亡。北アルプス南部地区遭対協が出動。	死亡	¥386,250
① 5	北アルプス 蝶ヶ岳	蝶ヶ岳から三俣登山道を下山中に転倒し、左脛骨、左腓骨を骨折。警察、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会員らにより救助される。9日間の入院治療。	負傷	¥131,707
6	山形県 鳥海山	6月11日、同行者と二人で上ノ台に筍採りに入山。道に迷い沢に下りる。高い位置からリュック落とす姿を同行者が確認後、合流できず行方不明に。同行者が翌朝自力下山して通報。八幡山岳捜索救助隊が捜索。	不明	¥1,368,180
7	北アルプス 常念岳	雨天時、胸突き八丁付近で足を滑らせて滑落。同行者とその場に居合わせた山岳救助隊員により捜索救助される。	負傷	¥81,248
① 7	北アルプス 五竜岳	五竜岳に登山中、北尾根ノ頭付近で脱水症により救助要請。警察ヘリにより救助される。遭対協隊員1名も別途出動。	負傷	¥52,400
① 7	北アルプス 奥穂高岳	穂高岳からザイテングラードを下山中に滑落。岐阜県警警察官の通報により長野県警ヘリが救助。心肺停止状態で発見、その後、死亡が確認された。	死亡	¥259,994
7	北アルプス 涸沢	テント場でぎっくり腰になり行動不能。北ア南部遭対協常駐隊の救助を得て長野県警ヘリにて松本市の病院に搬送。	負傷	¥191,406
7	北アルプス 槍ヶ岳	山岳会5人で登山。最後の梯子の中段で落石を受け重症。荒天のため長野県常駐隊員が付き添いババ平まで下山後、ヘリで搬送。	負傷	¥75,529
7	北アルプス 爺ヶ岳	爺ヶ岳山頂から下山中、冷池山荘への中地点で石につまづいて転倒し歩行困難に。遭対協、長野県防災ヘリに救助される。	負傷	¥240,400
7	北アルプス 槍ヶ岳	槍ヶ岳山荘内のベッドの梯子から転落し意識を失う。診療所の手配により病院にヘリ搬送。高山病起因による高地肺水腫、肺炎と診断。	入院	¥333,688
① 7	南アルプス 北岳	北岳大樺沢二股付近で捻挫後に転落、歩行困難になる。白根御池小屋に救助後、翌日に山梨県警ヘリにより病院に搬送。	負傷	¥124,686
① 7	奈良県 観音峯	登山中にバランスを崩し転倒。両膝を骨折し移動困難に。2日後に発見され、警察ヘリにより搬送。天川村消防団の捜索費用他を補てん。	負傷	¥485,857
7	北アルプス 奥穂高岳	奥穂高岳南稜を登攀中に滑落。同行者が警察に通報し、翌朝、警察ヘリにより発見、収容。その後、死亡が確認された。	死亡	¥335,280
7	北アルプス 涸沢	涸沢に到着直後に自力歩行が困難に。ワクチン接種の副反応による持病の悪化で筋力が低下。警察・遭対協によりヘリで病院に搬送。	入院	¥203,464
7	北アルプス 奥穂高岳	3人パーティで奥穂高岳南稜を登攀中、落石により1名が負傷。長野県遭対協常駐隊員が救助し、警察ヘリにより搬送。	負傷	¥45,817
8	北アルプス 西穂高岳	西穂から奥穂方面へ縦走中、天狗岳付近の鎖場で捻挫。自力で天狗沢を下山するが動けなくなりピバーク、翌朝ヘリで救助された。	負傷	¥59,368
8	南アルプス 北岳	山岳会7人で下山中、白根御池小屋下の第二ベンチ付近で転倒・滑落。眼窩底骨折のため入院、民間救助隊による救助。	負傷	¥166,248

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
8	北アルプス 笠ヶ岳	熱中症による脱水症で下半身が動かなくなり登山者に協力を依頼。ヘリコプターで救助される。岐阜県北ア遭対協の救助費用が発生。	特になし	¥30,000
8	北アルプス 西岳	足をふみはずし転倒、約20m滑落。自力で登り返し登山者に通報してもらう。その後、北ア南部遭対協救助隊員に救助されヘリで病院に。	負傷	¥81,248
8	北アルプス 槍ヶ岳	山岳会15名で槍ヶ岳から上高地へ下山中、殺生ヒュッテ付近で転倒し頭部裂傷、警察ヘリで病院へ。県遭対協、北ア南部遭対協の費用発生。	負傷	¥199,931
9	北アルプス 赤沢山	赤沢山に登頂し、ヒュッテ西岳方面に戻る途中で登山道から滑落。北ア南部遭対協救助隊員が出動し、県警ヘリで救助される。	負傷	¥108,268
9	北アルプス 焼岳	新中の湯ルート上で意識を失い倒れる。登山者の通報で長野県警ヘリにて病院に搬送。急性心筋梗塞と診断。遺体搬送費用が発生。	死亡	¥175,720
9	北アルプス 涸沢岳	槍ヶ岳から奥穂高岳へ縦走中、涸沢岳北東約700m先の岩場で約30m滑落して死亡。岐阜県北ア遭対協の救助費、遺体搬送費を補てん。	死亡	¥346,687
9	北アルプス 常念岳	常念小屋玄関の上がりかまちを降りようと、すのこで滑り、棚に脇腹を打ち行動不能に。北アルプス南部地区遭対協の救助費用が発生。	負傷	¥184,988
9	北アルプス 柏原新道	鹿島槍登山後、扇沢から柏原新道を下山中、濡れた石に足を滑らせて転倒。自力歩行困難となり救助要請。長野県遭対協の費用が発生。	負傷	¥46,000
9	八ヶ岳連峰 権現岳	ツアー登山で権現岳から赤岳へ向かう途中、ハンゴを通過後に転倒。長野県警ヘリで病院搬送。諏訪地区遭対協の救助費用等を補てん。	負傷	¥192,061
9	北アルプス 柏原新道	爺ヶ岳から種池山荘経由、柏原新道を下山中に転倒、骨折し救助を依頼。北アルプス北部地区遭難防止対策協会により救助される。	負傷	¥145,220
9	北アルプス 槍ヶ岳	槍ヶ岳北鎌尾根に単独で入山し行方不明に。その後、捜索に当たっていた警察が東側斜面で遺体を発見。岐阜県警ヘリで収容される。	死亡	¥351,585
10	北アルプス 白馬鍾ヶ岳	天候急変で稜線上でビバーク。低体温症により意識混濁となる。翌朝、登山者に発見され、長野県警ヘリで救助。	入院	¥9,518
10	南アルプス 日向山	単独で登山後帰宅せず警察署が捜索。工事関係者が尾白川の千ヶ淵付近で遺体発見。遭対協北杜支部の捜索費用、遺体搬送費等が発生。	死亡	¥335,310
10	三重県 御在所岳	藤内壁をクライミング中にスリップし7m墜落。後頭部を強打、失神し救助される。三重県防災ヘリで搬送。救助者の消耗品が補填対象に。	負傷	¥53,488
10	北アルプス 白馬乗鞍岳	単独で白馬乗鞍岳に入山し、積雪のため身動きとれず救助要請。長野県警救助隊らが倒れているところを発見したが死亡。	死亡	¥450,400
10	岩手県 大野山	堺ノ神山に登り、帰途に道に迷い山中をさまよう。山麓民家まで下山し救助を求めた。駆けつけ費用、謝礼費用が発生。	負傷	¥62,957
10	南アルプス 鋸岳	おそらく鋸岳で行方不明になったと思われる。警察が捜索したが手がかりなし。民間救助隊が捜索の打診を受けている。	不明	¥5,500,000*
12	北海道 カミホロカメツク山	登攀後、下山中にGPSの電池切れにより、吹雪で道に迷い遭難。同行者ともはぐれてビバーク後、自力下山中に道警ヘリに発見され搬送。	特になし	¥35,159
12	八ヶ岳連峰 硫黄岳	2名で大同心北西稜に登攀後、硫黄岳付近の稜線で悪天と低体温症で身動きがとれなくなりビバーク。赤岳鉱泉まで自力下山後救助される。	負傷	¥293,870

2021年度補てん金額合計			¥14,246,009 ^{※1}
2021年度事後分担金支払い状況	口座請求額	振替不能額	お支払込額
1月1日～8月31日 口座請求金額	¥16,793,600	¥981,700	¥15,811,900 ^{※2}
9月1日以降請求予定金額 (口座振替・クレジット・その他含む)	¥3,188,400	¥188,116 ^{※3}	¥3,000,284
合計	¥19,982,000	¥1,169,816	¥18,812,184
2021年度 補てん金額	¥14,246,009 ^{※4}	^{※1} お支払補てん金総額 ^{※2} 郵便振替支払い含む ^{※3} 1月1日～8月31日と同じ5.6% ^{※4} 受付済み未請求事故1件(★)を含む。※1と同じ ^{※5} ¥18,812,184- ¥14,246,009 ^{※6} 6月末日までの会員数 ^{※7} ¥43.8円を切り上げ	
過徴収額：A	¥4,566,175 ^{※5}		
事後分担金お支払済み人数：B	104,233名 ^{※6}		
2021年度事後分担金確定額：A÷B	¥100 ^{※7}		

2021年度事後分担金確定額および精算額について

2021年事後分担金の確定額は、上記実績表通りの補てん金お支払い状況と会員の方からの事後分担金お払込み状況により、お一人当たり100円とさせていただきます。これに対し2021年以前にご入会の会員の方は既に200円の事後分担金をお支払いいただいております。このため100円を返金させていただきますが、2022年度事後分担金としてお払込んだ際に相殺処理させていただきます。ご了承をお願いいたします。相殺後の金額は2022年度事後分担金額をご参照ください。